



第1回 上尾市かわまちづくり協議会

会 議 録

日 時 令和5年5月11日（木） 午前9時50分から
場 所 上尾市役所議会棟4階 全員協議会室

<p>9 : 50～</p> <p>1. 開会</p> <p>2. 会長及び副会長の選任</p> <p>3. 議題</p> <p>(1) (2)</p> <p>質問①</p> <p>委 員</p> <p>事務局</p> <p>質問②</p> <p>委 員</p> <p>事務局</p>	<p>事務局より開会のあいさつ</p> <p>・ 作山委員を会長に、嶋田委員を副会長に選任することが提案され、全会一致で選任された。</p> <p>・ 本会議の会議録署名人は、今川委員、山根委員の2名に、書記は事務局の岩城主任にお願いする。</p> <p>・ 作山会長及び嶋田副会長の挨拶</p> <p>(1) かわまちづくりに関するこれまでの経緯</p> <p>(2) 堤防の利活用について</p> <p>・ 事務局より資料-1 資料-2 を説明。質疑応答に移る。</p> <p>・ 資料2のパスは、あくまでもイメージであるという認識か？</p> <p>・ これまでの勉強会での意見をもとに作成したパスで、今回の協議会での議論を経て、さらに考えていきたい。ただ、このイメージから大きく変更することは難しい。堤防自体ができるのはまだ先であるし、イベント等については今後社会実験などをしながら考えていきたい。</p> <p>・ 駐車スペースはどこなのか？また、駐車スペースの面積は小さいと思う。また、開平橋の北側だけでなく、南側との関係性を持たせ、北側と同じようなコンセプトで考えた方が良く考える。</p> <p>・ 駐車スペースは側帯の上である。堤防上の側帯に作れる駐車スペースはこのパスくらいの大きさになる。それ以上の面積が必要な場合は、市の施設などを活用することになると思う。</p>
--	--

<p>質問③</p> <p>委 員</p> <p>事務局</p> <p>議 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・土手につながる道路を含め、防災上消防車が通れる道を整備してほしい。 ・今回のかわまちづくりでは、開平橋から北側を扱うが、周辺道路や駐車スペースについても関連してやっていく必要があると考えているので、かわまちづくり計画を協議するなかで具体的な指摘をしていただければと思う。 ・今回の協議会の議論ではこの範囲を対象とするが、周辺の関連区域については市で検討していくということだ。
<p>質問④</p> <p>委 員</p> <p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の任期は２年間であるが、計画を提出した後でも道路の話を含め、議論するということでよいか？ ・今年度は、かわまちづくり計画を取りまとめ、来年度は、堤防をどのように活用していくか社会実験などを通じてイベントなどをやっていく予定である。周辺整備についての議論は、別途「堤防整備連絡会議」で進めていきたい。
<p>質問⑤</p> <p>委 員</p> <p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡会議の場では、意見の疎通や反映ができるのか懸念がある。また、社会実験は堤防ができるまでどの場所でやろうと考えているのか？荒池事務所に「こういうことに使用したい」などの相談をしているのか？もし使えないという返事があった場合はどうするのか？ ・連絡会議も、密に連絡していく会議にさせていただく。実験をする場所を含め、この協議会で協議していきたい。河川の管理用通路を活用することも考えられる。

<p>議 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会実験の場所はまだ例示であり、グラウンドなど全然違った場所になるかもしれない。どんな場所であれ、イベントの内容を実験して見せるということになる。 ・重要な指摘があったが、２年間だけで今回の協議会を終了させるのではなく、その後もフォローアップをする協議会が必要かもしれない。その協議会に国が参加するか否かは、また議論が必要である。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この協議会は、国交省への整備要望をする会である。堤防を整備した後にも、周辺の一般道路との接続は課題になるので、そうした課題を市に出してほしい。
<p>議 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、かわまちづくり計画の申請にあたって、国に整備してもらいたい内容をこの会議でまとめるという認識でいる。市に整備してもらいたいことは、その次の段階で協議することになると考える。そのためにも、標準的な堤防ではなく、皆さんのご意見を反映させて、良い計画を作っていきたい。
<p>質問⑥</p>	
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国と市の周辺整備は、一体性がある。せっきく作る堤防を市民が利用するには、周辺のまちづくりも大切である。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・かわまちづくり協議会でプランがはっきりしてきたのち、市側ではどのようなアクセス方法がよいかななどを検討する。この協議会の下部組織に庁内検討会議があるので、市としても一体で考えている。
<p>議 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この会議でやることと、そうでないことがある。市が全部やってくれるわけでもなく、住民も一緒になって議論する必要がある。市に任せると市の理屈で作ってしまうこともある。道路や駐車場なども、この協議会で全部解決するわけではない。

<p>質問⑦</p> <p>委員 事務局</p> <p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防の天端の道路は、一般車も通行できるのか？ ・河川管理通路なので、歩行やサイクリング、そしてイベント時などの一時的な車両通行はできるが、公道ではない。 ・他の例でいうと、当面は河川管理通路であるが、状況に応じては「道路法の道路」とする場合もあるのではないか。イベント等で使用する物品保管用倉庫が重要であり、倉庫があるとイベント等を行う際は便利である。また、絵になる風景を作ること大切。建築物なども細かいデザインをして、魅力的なものを作り、人を呼び込むことが必要である。
<p>質問⑧</p> <p>委員</p> <p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平方はアクセスが悪いので、人を呼ぶには道路、駐車場、案内標識が必要。北側に丸山公園、環境センターがあるので、案内標識によって広域に使えるようにしないと、平方だけでは人は来ないだろう。 ・アクセスする交通手段は、様々な方法がある。例えば丸山公園まで車で来て、そこから電動カートで平方まで移動する方法も有る。直接車で平方までくる手段は、段階的に整備することが必要だろう。
<p>3. 議題</p> <p>(3)</p>	<p>(3) 今後の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より資料3を説明。質疑応答に移る。
<p>質問①</p> <p>委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内検討会の結果は、かわまちづくり協議会に報告があるのか？ ・報告させていただく。

<p>質問②</p> <p>委 員</p> <p>事務局</p> <p>国（荒上）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2回の協議会で議論するテーマ事項を、事前に委員に知らせてほしい。この協議会の結果を受ける荒川上流河川事務所の考え方を聞きたい。計画案に対して予算はあるのか？ ・ 第2回協議会では、テーマとしてかわまちづくり計画書のたたき台を議論していただくことを予定している。今後、協議会でのテーマは事前にお知らせする。 ・ 堤防本体の予算は、予算確保している。側帯、坂路、階段、低水護岸などについては、かわまちづくり計画が登録されれば確保できる。堤防に直接付いているものは国が整備し、上物は市が整備することになる。
<p>質問③</p> <p>委 員</p> <p>国（荒上）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ かわまちづくり計画の審査とは、だれが行うのか？ ・ 国土交通省本省で審査することになる。
<p>質問④</p> <p>委 員</p> <p>事務局</p> <p>議 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気や上下水道といった設備は、誰が整備するのか？ ・ 市が整備する。 ・ 集客の観点からトイレも重要である。下水につながず、自家処理する方法も有る。

質問⑤	
委 員	・ 樹木を植えたい場合は、誰が植えるのか？樹木がないと風景にならない。堤防本体を傷つけない断面では樹木植栽できるのではないか？
事務局	・ 樹木植栽は、市が行う。
議 長	・ 市役所のなかでも調整をして、河川部門が樹木管理をした方がいい。公園部門だと、維持管理の面からあまり植えたがらない。
質問⑥	
委 員	・ 4回の協議会だけでは決まらないと思うので、スケジュールにないイレギュラーな会議も入れたらどうか？
事務局	・ 協議会も回数が増えることはあると思うが、「堤防整備連絡会議」で、周辺整備の話をしていきたい。
議 長	・ 市にやらせると、なかなか進まない面もあるので、地元住民側からのアイデアをまとめる勉強会のようなものを作って議論した方が良く。その会議に、芝浦工業大学や私自身が参加することも可能。地元も、自分たちでアイデアをまとめ、市に投げかけた方が良く。
委 員	・ 平方まちづくり協議会の方でそうした集まりを持ってもいいかもしれない。
質問⑦	
委 員	・ 今後の事務局の窓口は建設管理課でよいのか？
事務局	・ 結構です。
意見①	
議 長	・ 商工会には、例えばキッチンカーの出店、自転車メーカー連携した自転車のイベント開催、キャンプメーカーの展示会開催などについて、その可能性や条件、ニーズなどの情報を集めてほしい。

委 員	・ 再来週も 1 万人規模のイベントはあるが、人数規模を設定すれば、イベントの検討はできる。
委 員	・ 観光協会でもキッチンカーの登録業者がいるので、紹介可能である。
意見②	
委 員	・ 地元で会議をする可能性があるため、平方支所長にも今後相談したい。
4. その他	
事務局	・ 次回（第 2 回）協議会は、7/13（木）を予定しているが、委員間の日程調整は後日改めて行う。場所は、平方公民館。事前に、かわまちづくり計画原案をお送りする。
5. 閉会	嶋田副会長より閉会の言葉
～11：00	
	以上

●会議写真

